

平成29年度 学校教育目標及び経営方針

本校の総合学科の理念

ふるさとの風土や、「いのち」を育み「いのち」をいただく体験に学び、たくましく豊かに生きぬく力を身に付け、人や地域をつなぎ環境保全や社会の発展に資する人間を育てるため、幅広い選択科目等を設定し多様な自己実現を支える教育課程を編成するとともに、国際理解や地域文化、農業や環境等に関する体験的な活動を重視した教育活動を推進する。

本校の教育目標

- 1 確かな学力を身に付け、主体的で豊かな人間性を持った生徒を育てる。
- 2 不撓不屈の精神で挑戦し、新しい時代を拓く力を持った生徒を育てる。
- 3 地域の環境に学び、いのちを尊び、社会の発展に資する生徒を育てる。

重点目標

- 1 国際理解、地域、文化、環境、農業教育等の推進に係る体験的学習の充実を図り、いのちを巡る「人」、「自然」、「食」に関わる価値について体得させる。
- 2 基礎的・基本的な学力の着実な定着を図るべく全ての教科指導においてアクティブ・ラーニングを導入し授業の改善に努めるとともに、学習習慣を身に付けさせるなど自ら学び学力を高める意欲や態度の育成に努める。
- 3 自ら課題を見つけ、様々な学習成果や手段を用いて課題を解決しようとする意欲や方法を継続的に身に付けさせるとともに、相手に伝える表現方法や技能を身に付けさせる。
- 4 地域の高等教育機関としての認識と使命感を持ち、高等学校としての役割を模索するとともに、常に広くわかりやすく教育活動にかかる広報活動に努める。

学校経営方針

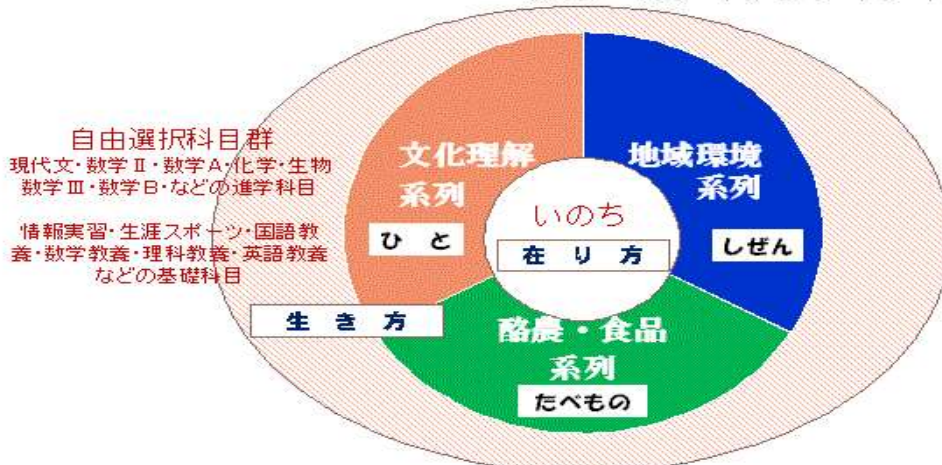
- 1 本校の総合学科の理念を踏まえ、多様な進路実現を保証する教育環境の整備に努める。
- 2 学校及び地域資源を活かし、文化、環境、食を特色とした魅力ある教育課程の編成に努める。
- 3 学校を軸とした地域（釧路圏域）づくりを実現する高校として地域社会に評価、信頼、支援され、北海道の高校として将来を期待される教育実践に努める。
- 4 キャリア教育及びインタープリター教育を推進するため、教育課程全体で意図的、計画的に目標とする諸能力の育成にあたる。
- 5 生徒、保護者をはじめ、他者に対する相手意識を常に念頭に置き、人間関係や組織運営を円滑に進めるとともに、安全管理に努め、信頼される教育環境づくりを推進する。

本校の教育目標実現のための方策

- 1 確かな学力を身に付け、主体的で豊かな人間性を持った生徒を育てる。
 - (1) 自学習慣の定着とアクティブ・ラーニングの授業への導入を進め、基礎・基本が確実に定着するよう授業の改善と時数確保に取り組む。
 - (2) 系列事業、生徒会、農業クラブ等の活動への積極的な参加を促し、自主的、自律的活動とその成果を通して達成感や自己有用感を持たせるとともに、活動の意義や価値について考えさせる。
- 2 不撓不屈の精神で挑戦し、新しい時代を拓く力を持った生徒を育てる。
 - (1) キャリア教育の一層の推進を目指し、自ら課題を見つけ出し、失敗を繰り返しながらも解決の方策を考えられるよう、インターンシップや課題研究の取組を充実させる。
 - (2) インタープリター教育の実現に向け、特にコミュニケーション能力及びグローバルな表現力の育成に重点的に取り組む。
 - (3) ICTを活用した授業づくりを推進するとともに、ネット活用に関する道徳的な概念を習得させる。
- 3 ^{ふるさと}地域の環境に学び、いのちを尊び、社会の発展に資する生徒を育てる。
 - (1) 総合学科の趣旨を生かし、生涯にわたって「いのち」を巡る「人」「自然」「食」に関する望ましい価値観が得られるよう、全ての生徒に対して人との関わり、環境の保全、農食の探求をとおして、各系列毎の体験的実学的活動を奨励・育成し、地域への貢献や一層の特色ある教育活動としての充実を図る。
 - (2) 産業社会、自己探求、課題研究のかかわり方をよりの確に理解させ、より現実的に自己実現を図れるよう、全体計画を明確化する。

3系列の構成イメージ

北海道標茶高等学校 3系列構成のイメージ
(スクールアイデンティティ)



「いのち」を巡る「人」「自然」「食」に関する望ましい価値観（在り方）を身に付けます